

富岡・甘楽地区新高等学校の基本構想

平成28年6月17日

群馬県教育委員会

I 富岡・甘楽地区新高等学校の設置

富岡・甘楽地区県立高等学校再編整備計画に基づき、群馬県立富岡高等学校と群馬県立富岡東高等学校を統合し、全日制課程（男女共学）の新高等学校を開設する。

なお、定時制課程については、群馬県立富岡高等学校定時制課程（普通科）を引き継ぐ。

II 新高等学校の概要

1 設置場所、課程等

(1) 設置場所

群馬県立富岡高等学校校地（富岡市七日市1425番地1）

(2) 課程・学科等

全日制課程 普通科：募集定員 男女240人（6学級）

(3) 開校時期

平成30年4月

(4) 移行措置（平成28、29年度の富岡高等学校及び富岡東高等学校入学者への対応）

ア 学 籍 平成30年4月に新高校へ転学

イ 教育課程 新高校への移行を見通した3年間の教育課程を編成

ウ 部 活 動 3年間継続して取り組めるように編成し、統合前から交流を促進

2 教育構想

(1) 教育目標（育てたい生徒像）

ア 人品雅致 じんびんがち 人柄に優れ、知徳体の調和のとれた、人間性が豊かな生徒

イ 質実剛健 高い志を持ち、未来を切り拓くために地道に努力する生徒

ウ 自主自立 自ら学び、考え、自らを鍛え、社会に貢献する生徒

(2) 運営方針

ア 両校の良き伝統と校風を継承した上で、将来にわたり地区の中核となる学校であり続けるために、職員が率先して研究と修養に努める。

イ 学校安全に留意して、生徒の実態や環境の変化に対応できる組織的な教育活動を行う。

ウ 保護者、同窓生及び地域の人々との連携を深め、信頼される学校づくりに日々努める。

(3) 教育方針

ア 生徒の基本的な生活習慣を確立するとともに、能力を大いに伸ばし、進路希望の実現を図る。

イ 相手を敬い、感謝する心を育み、生き生きとした高校生活を送ることができるようにする。

ウ 社会の大きな変化に主体的に対応するために、わが国の文化や伝統を尊重する態度を養うとともに、国際社会に貢献できる能力を育成する。

(4) 特色ある教育内容

ア 進路希望に応じたきめ細かな指導

- ・国公立大学を始め、幅広い進学希望に対応するコース制を導入する。
- ・学力の着実な向上を図るため、習熟度別指導及び少人数指導を充実させる。

イ 部活動の活性化と学校行事の充実（文武両道）

- ・富岡高校及び富岡東高校の伝統と実績を継承し、文武両道を推進する。

ウ 地域社会との一体化と国際感覚の育成

- ・地域交流、ボランティア活動、体験活動等の充実を図り、地域に根ざした教育を推進する。
- ・あわせて、国際交流を推進し、これからの時代に求められる国際感覚を育成する。

3 施設整備

特色ある教育内容を実現するため、既存校舎の充実を図るとともに、新校舎の整備を行う。

Ⅲ 新高等学校の教育課程

1 教育課程編成の基本方針

- (1) 生徒一人一人の進路希望を重視し、幅広い進学希望に対応するため、2コース・2類型制を導入し、希望する進学先へ現役で合格できる学力を身に付けさせる。
- (2) 基礎学力を充実させる観点から必履修科目の設定を工夫するとともに、選択科目等を適切に設定して、習得した知識等を高いレベルで活用する思考力、判断力、表現力を育成し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等、「確かな学力」の向上を図る。
- (3) 入学時より系統的なキャリア教育を推進し、主体的に進路を選択・決定できる能力や態度を育成する。
- (4) 生徒一人一人の高い志を実現できるよう、独自の学習・進路支援プログラム※を設け、組織的かつ計画的な指導を推進する。
- (5) 学校の様々な教育活動を通して、これからの時代に求められる問題解決力や実践的なコミュニケーション能力の習得を図り、将来、社会に貢献できる資質・能力を育成する。
- (6) 1週間の授業時間は、LHRを含めて32時間とする。

2 教育課程編成の工夫

- (1) 1年次は、基礎学力の充実を図るため、共通科目の履修を主とし、生徒の進路希望等に応じたクラス編成等を工夫し、きめ細かな指導を行う。2年次からは、幅広い進学希望に対応するため、2コース（コースⅠ及びコースⅡ）に分け、それぞれのコースに文型・理型の類型を設ける。

- (2) コースⅠでは、文型及び理型ごとに系統的な学習を充実させるとともに、3年次において、進路希望に応じた幅広い科目選択が可能となる教育課程を編成する。
- (3) コースⅡでは、文型及び理型に分けながら、5教科を中心とする各教科の学習を充実させるとともに、文型では英語、理型では理数を中心に、学習内容を専門的に深められるような工夫を行う。
- (4) 一人一人の生徒にきめ細かな指導を行い、学力の定着及び向上を図るため、1年次から、習熟度別指導や少人数指導を実施する。
- (5) 地域の多様な教育資源や人材を積極的に活用するなど、地域の特性を生かし、実践的な学習・進路指導を展開する。
- (6) 独自の学習・進路支援プログラムの取組を体系的に設定することにより、生徒の進路目標達成を図る。
- (7) 海外研修（希望者）をはじめ、国際的視野と高い識見を育てる講演会や大学教授の講義等を実施することにより、国際理解教育の充実を図る。

※ 独自の学習・進路支援プログラムについて

生徒の進路希望を実現させ、将来、社会に貢献できる人材を育成することを目指す「人間力向上プログラム」として、以下の「サクセスシステム」及び「ドリームプラン」により、学校生活全般を通して、生徒一人一人の学習面及び進路面での取組を、系統的かつ総合的に支援する。

ア 「サクセスシステム」

独自のスケジュール手帳と一人一人の課題に応じた面談指導により、日々の学習の自己管理と着実な学力向上を図る。

イ 「ドリームプラン」

「なりたい自分」を体験的な学習や調べ学習を通して探求するとともに、「考える」→「まとめる」→「発表する」→「考える」の手順を通して、問題解決能力やコミュニケーション能力の向上を図る。

3 教育課程の編成

(1) 設置する教科・科目

ア 共通履修科目

必履修科目は1年次におおむね履修し、2年次から類型ごとに系統的な学習に取り組めるよう、科目を設置する。

	1年	コースⅠ（2、3年）		コースⅡ（2、3年）	
		文型	理型	文型	理型
国語	国語総合(4)	現代文B(6) 古典B(5)	現代文B(5) 古典B(4)	現代文B(6) 古典B(5)	現代文B(5) 古典B(4)
地歴	世界史A(2)	世界史B(3) 日本史B(4)	地理B(3)	日本史B(3)	地理B(3)
公民	現代社会(2)	/		政治・経済(2)	/
数学	数学Ⅰ(3) 数学A(2)	数学Ⅱ(5)	数学Ⅱ(4) 数学B(2)	数学Ⅱ(4) 数学B(2)	数学Ⅱ(4) 数学B(2)
理科	化学基礎(2) 生物基礎(2)	地学基礎(2)	物理基礎(2) 化学(6)	地学基礎(2)	物理基礎(2) 化学(6)
体育	体育(2) 保健(1)	体育(5) 保健(1)	体育(5) 保健(1)	体育(5) 保健(1)	体育(5) 保健(1)
芸術	音楽Ⅰ(2)	/		/	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ(4) 英語表現Ⅰ(2)	コミュニケーション英語Ⅱ(4) コミュニケーション英語Ⅲ(5) 英語表現Ⅱ(6)	コミュニケーション英語Ⅱ(4) コミュニケーション英語Ⅲ(4) 英語表現Ⅱ(4)	コミュニケーション英語Ⅱ(4) コミュニケーション英語Ⅲ(5) 英語表現Ⅱ(5)	コミュニケーション英語Ⅱ(4) コミュニケーション英語Ⅲ(4) 英語表現Ⅱ(4)
家庭	家庭基礎(2)	/		/	
情報	/	社会と情報(2)	社会と情報(2)	社会と情報(2)	社会と情報(2)

※ ()内の数字は、単位数を表す。(例：国語総合(4)は、「国語総合 4単位」の意)

イ 選択科目（2・3年）

一人一人の進路希望に応じて学習の深化・発展を図るため、コース及び類型ごとに「研究科目」等の学校設定科目や専門科目を設置する。

* 学校設定科目

	コースⅠ（2、3年）		コースⅡ（2、3年）	
	文型	理型	文型	理型
国語	国語研究Ⅰ* (2) ※ ¹	国語表現 (3)	国語研究Ⅱ* (4)	国語表現 (3)
地歴	世界史研究* (4) 日本史研究* (4)	地理研究* (2)	世界史B (6) 日本史詳論* (6) 日本史特論* (2) ※ ²	地理研究* (2)
公民	政治・経済 (2) 倫理 (2)	現代社会研究* (2)	政経研究* (2) 倫理 (2)	現代社会研究* (2)
数学	文型数学研究Ⅰ* (4)	数学Ⅲ (5) 理型数学研究Ⅰ* (5) 理型数学研究Ⅱ* (5) 数学特論Ⅰ* (3)	文型数学研究Ⅱ* (4)	数学Ⅲ (5) 理型数学研究Ⅲ* (5) 数学特論Ⅱ* (3)
理科	化学研究* (2) 生物研究* (2) 地学研究* (2)	物理 (6) 生物 (6)	化学研究* (2) ※ ³ 生物研究* (2) 地学研究* (2)	物理 (6) 生物 (6)
芸術	音楽Ⅱ (2) 美術Ⅰ (2) 書道Ⅰ (2)			
外国語	英語研究Ⅰ* (4)	英語研究Ⅱ* (2)	英語研究Ⅲ* (2)	
家庭	フードデザイン (2)	フードデザイン (2)		
英語			時事英語 (2)	

※¹ 理科科目（4単位：化学研究、生物研究、地学のいずれか2科目）、もしくは、国語研究Ⅰ（2単位）、芸術科目（2単位：音楽Ⅱ、美術Ⅰ、書道Ⅰのいずれか1科目）、フードデザイン（2単位）から2科目を選択

※² 日本史特論は、世界史B選択者のみ選択可

※³ 理科科目（化学研究、生物研究、地学のいずれか2科目）、もしくは、英語科目（英語研究Ⅲ、時事英語）のいずれかを選択

ウ 総合的な学習の時間

独自の学習・進路支援プログラムと関連させながら、自ら設定した課題に主体的に取り組み、調べ方や学び方、考え方を身に付けるとともに、将来に向けて自己の在り方や生き方を考え、社会に貢献する力を身に付ける。

学年	単位数	内 容 等
1年	2単位	地域調査学習、事業所・研究所訪問、職業人講話等を通して、地域社会における今日の課題に対する認識を深め、社会にどのように関わり、貢献できるかを考察する。
2年	1単位	1年次に学んだことを踏まえ、テーマ研究、大学見学会、大学模擬講義等を通して、必要な学問等について探求するとともに、日本や国際社会における課題に対する認識を深め、将来、どのように貢献できるかを考察する。

(2) 特色ある科目の内容（学校設定科目等）

ア コース共通

【文型】

化学研究	「化学基礎」の学習内容を基礎として、進路希望等により発展的な題材に取り組み、科学的な見方や考え方を深める。
生物研究	「生物基礎」の学習内容を基礎として、進路希望等により発展的な題材に取り組み、科学的な見方や考え方を深める。
地学研究	「地学基礎」の学習内容を基礎として、進路希望等により発展的な題材に取り組み、科学的な見方や考え方を深める。

【理型】

地理研究	「地理B」の学習内容を踏まえ、現代世界の諸地域をより多面的・多角的に考察し、地理的な見方や考え方を深める。
現代社会研究	「現代社会」の学習内容を踏まえ、現代社会の諸課題を探究し、社会的な見方や考え方を深める。

イ コースⅠ

【文型】

国語研究Ⅰ	1、2年の学習内容を踏まえ、発展的な教材により、表現力や理解力を高め、国語を適切に運用する力を伸ばす。
世界史研究	「世界史B」の学習内容を踏まえ、世界の歴史をより多面的・多角的に考察し、歴史的な見方や考え方を深める。
日本史研究	「日本史B」の学習内容を踏まえ、日本の歴史をより多面的・多角的に考察し、歴史的な見方や考え方を深める。
文型数学研究Ⅰ	「数学Ⅰ、A、Ⅱ」の学習内容を基礎として、進路希望等により分野を選択して発展的な題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深める。

英語研究Ⅰ	英文法・語法を習得した上で、人文科学系、社会科学系等の分野に関する英文を正確に読み、自分の考えを英語で述べられるようにする。
-------	--

【理型】

理型数学研究Ⅰ	「数学Ⅰ、A」の学習内容を基礎として、発展的な題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深める。
理型数学研究Ⅱ	「数学Ⅰ、A、Ⅱ、B」の学習内容を基礎として、発展的な題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深める。
数学特論Ⅰ	「数学Ⅰ、A、Ⅱ、B」の学習内容を基礎として、発展的な題材に取り組み、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を養う。
英語研究Ⅱ	英文法・語法を習得した上で、自然科学系等の分野に関する英文を正確に読み、自分の考えを英語で述べられるようにする。

ウ コースⅡ

【文型】

国語研究Ⅱ	1、2年の学習内容を踏まえ、難易度を高い教材により、表現力や理解力を高め、国語を主体的に運用する力を伸ばす。
日本史詳論	「日本史B」の学習内容を踏まえ、日本の歴史に関する様々な事象を多面的・多角的に考察し、歴史に関する深い知識と思考力を養う。
日本史特論	「日本史B」の学習内容を踏まえ、日本の歴史を多面的・多角的に考察し、歴史に関する深い知識と思考力を養う。(世界史B選択者のみ選択可)
政経研究	「政治・経済」の学習内容を踏まえ、よりグローバルな視点から政治や経済を考察し、社会的な思考力や判断力の向上を図る。
文型数学研究Ⅱ	「数学Ⅰ、A、Ⅱ、B」の学習内容を基礎として、発展的な題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深め、思考力や判断力の向上を図る。
英語研究Ⅲ	難易度の高い英文の要旨を正確に捉えるとともに、社会的事象に対する自分の考えを英語で明確に述べられるようにする。
時事英語	インターネットや英字新聞、英語圏のニュース番組など様々なメディアを通して世界情勢を知り、グローバル社会で求められる識見を身に付け、自分の考えを明確に述べられるようにする。

【理型】

理型数学研究Ⅲ	「数学Ⅰ、A、Ⅱ、B」の学習内容を基礎として、発展的な題材に取り組み、数学的な見方や考え方を深め、思考力や判断力の向上を図る。
数学特論Ⅱ	「数学Ⅰ、A、Ⅱ、B、Ⅲ」の学習内容を基礎として、発展的な題材に取り組み、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらをより積極的に活用する態度を養う。

(3) 教育課程表（案）

1年次の学習の基礎の上に、コースⅠでは、類型ごとに学習の系統性を重視した科目配列とするとともに、幅広い進路希望に適切に対応できるよう、3年次に多様な選択科目を設置する。

コースⅠ					
単 位	1 学 年	2 学 年		3 学 年	
		文型	理型	文型	理型
1	国 語 総 合	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B
2					古 典 B
3		【数学選択】 数学Ⅲ、理型数学 研究Ⅰ、理型数学 研究Ⅱ	【地歴選択】 世界史研究、日本 史研究		
4					【公民選択】倫理、 政治・経済
5	世 界 史 A	世 界 史 B	地 理 B	【理科選択】 物理、生物	
6					数 学 I
7	現 代 社 会	数 学 II	数 学 B	物 理 基 礎	
8					数 学 A
9	数 学 A	数 学 II	数 学 B	体 育	
10					化 学 基 礎
11	化 学 基 礎	数 学 II	数 学 B	体 育	
12					生 物 基 礎
13	生 物 基 礎	数 学 II	数 学 B	体 育	
14					生 物 基 礎
15	生 物 基 礎	数 学 II	数 学 B	体 育	
16					生 物 基 礎
17	生 物 基 礎	数 学 II	数 学 B	体 育	
18					体 育
19	体 育	地 学 基 礎	【理科選択】 物理、生物	英 語 表 現 II	
20					保 健
21	音 楽 I	保 健	体 育	コミュニケーション英語Ⅲ	
22					音 楽 I
23	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	保 健	コミュニケーション英語Ⅲ	
24					コミュニケーション英語Ⅰ
25	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	保 健	コミュニケーション英語Ⅲ	
26					コミュニケーション英語Ⅰ
27	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ	【選択A】 文型数学研究Ⅰ、 英語研究Ⅰ	英 語 表 現 II	
28					英語表現Ⅰ
29	家庭基礎	英語表現Ⅱ	【選択B】 化学研究②/生物研究②/ 地学研究②、国語研究Ⅰ ②、音楽Ⅱ②/美術Ⅰ②/ 書道Ⅰ②、フードデザイン②	【選択C】 国語表現、数学特論 Ⅰ	
30					家庭基礎
31	ホームルーム活動	社会と情報	社会と情報	【選択D】 地理研究、現代社会研究、 英語研究Ⅱ、フードデザイン	
32					ホームルーム活動
33	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	
33					総合的な学習の時間

※ 選択科目の丸数字は、単位数を表す。(例：化学研究②は、「化学研究 2単位」の意)

選択Bでは、理科科目（4単位：化学研究、生物研究、地学研究のいずれか2科目）、もしくは、国語研究Ⅰ（2単位）、芸術科目（2単位：音楽Ⅱ、美術Ⅰ、書道Ⅰのいずれか1科目）、フードデザイン（2単位）から2科目を選択

※ 総合的な学習の時間は、1学年1単位分は毎週1時間配当し、それ以外（1学年1単位時間、2学年1単位時間）は特定の学期または時間に配当する。

コースⅡでは、類型ごとに学習の発展性を重視し、文理両分野にわたる幅広い学習と専門性の高い学習の両立に配慮した科目配列とするとともに、3年次の選択科目の充実を図る。

コースⅡ				
単 位	2 学 年		3 学 年	
	文型	理型	文型	理型
1	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B	現 代 文 B
2				
3				古 典 B
4	古 典 B	古 典 B	古 典 B	
5				【社会選択】地理研究、 現代社会研究
6	日 本 史 B	地 理 B		
7			【地歴選択】	【数学選択】
8			世界史B、日本史	数学Ⅲ、理型数学
9	【地歴選択】世界史	数 学 Ⅱ	詳論	研究Ⅲ
10	B、日本史詳論			
11	政 治 ・ 経 済		【社会選択】日本史特	
12			論、倫理、政経研究	化 学
13	数 学 Ⅱ	数 学 B	体 育	
14				
15		化 学		
16			コミュニケーション英語Ⅲ	【理科選択】
17	数 学 B	物 理 基 礎		物理、生物
18				
19	地 学 基 礎	【理科選択】		
20		物理、生物		体 育
21	体 育	体 育	英 語 表 現 Ⅱ	
22				
23	保 健	保 健		コミュニケーション英語Ⅲ
24	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	【選択E】	
25			国語研究Ⅱ、文型	
26			数学研究Ⅱ	
27				英 語 表 現 Ⅱ
28	英 語 表 現 Ⅱ	英 語 表 現 Ⅱ	【選択F】	
29			化学研究②/生物研究②/	【選択G】
30	社 会 と 情 報	社 会 と 情 報	地学研究②、英語研究Ⅲ	国語表現、数学特
31			②+時事英語②	論Ⅱ
32	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動
33	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間		

※ 選択Fでは、理科学目（化学研究、生物研究、地学研究のいずれか2科目）、もしくは、英語科目（英語研究Ⅲ、時事英語）のいずれかを選択

(4) 科目選択例

ア コース I

【文型】

- 国公立大学の文学部、法学部、経済学部、教育学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		世界史B			日本史B				数学Ⅱ				地学基礎		体育		保健		コミュニケーション英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		社会と情報		
3 年次	現代文B			古典B		<選択> 世界史研究 日本史研究			<選択> 倫理、 政治・ 経済		体育				コミュニケーション英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		<選択> 文型数学 研究Ⅰ				<選択> 化学研究② 生物研究② 地学研究②						

- 私立大学の文学部、法学部、経済学部、教育学部等、短期大学の文系学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		世界史B			日本史B				数学Ⅱ				地学基礎		体育		保健		コミュニケーション英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		社会と情報		
3 年次	現代文B			古典B		<選択> 世界史研究 日本史研究			<選択> 倫理、 政治・ 経済		体育				コミュニケーション英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		<選択> 英語研究Ⅰ				<選択> 音楽Ⅱ②/美術Ⅰ②/書道Ⅰ②+国語研究Ⅰ②						

【理型】

- 国公立大学・私立大学の理学部、工学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		地理B			数学Ⅱ				数学B		化学		物理基礎		<選択> 物理 生物		体育		保健		コミュニケーション英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		社会と情報
3 年次	現代文B		古典B	<選択> 数学Ⅲ				化学				<選択> 物理 生物				体育		コミュニケーション英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		<選択> 数学 特論Ⅰ		<選択> 地理 研究、 現代 社会 研究					

- 私立大学・短期大学の医療系学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		地理B			数学Ⅱ				数学B		化学		物理基礎		<選択> 物理 生物		体育		保健		コミュニケーション英語Ⅱ				英語表現Ⅱ		社会と情報
3 年次	現代文B		古典B	<選択> 理系数学研究Ⅰ 理系数学研究Ⅱ				化学				<選択> 物理 生物				体育		コミュニケーション英語Ⅲ				英語表現Ⅱ		<選択> 国語 表現		<選択> 英語研 究Ⅱ、 フット ボール 等					

イ コースⅡ

【文型】

○ 難関国公立大学の文学部、法学部、経済学部、教育学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		日本史B			〈選択〉 世界史B		政治・ 経済		数学Ⅱ			数 学 B		地 学 基礎		体 育		保 健		コミュニケーション 英語Ⅱ			英 語 表現Ⅱ		社会と 情報		
3 年次	現代文B			古典B		〈選択〉 世界史B 【継続履修】			〈選択〉 日本史 特論、 倫理、 政経 研究		体 育			コミュニケーション 英語Ⅲ			英 語 表現Ⅱ		〈選択〉 文型数学 研究Ⅱ			〈選択〉 化学研究② 生物研究② 地学研究②									

○ 難関私立大学の文学部、法学部、経済学部、教育学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		日本史B			〈選択〉 日本史 詳論		政治・ 経済		数学Ⅱ			数 学 B		地 学 基礎		体 育		保 健		コミュニケーション 英語Ⅱ			英 語 表現Ⅱ		社会と 情報		
3 年次	現代文B			古典B		〈選択〉 日本史詳論 【継続履修】			〈選択〉 倫理、 政経 研究		体 育			コミュニケーション 英語Ⅲ			英 語 表現Ⅱ		〈選択〉 国語研究Ⅱ			〈選択〉 時事英語②＋ 英語研究Ⅲ②									

【理型】

○ 難関国公立大学の医学部、歯学部、薬学部、理学部、工学部、農学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		地理B			数学Ⅱ			数 学 B		化 学		物 理 基礎		〈選択〉 物 理 生物		体 育		保 健		コミュニケーション 英語Ⅱ			英 語 表現Ⅱ		社会と 情報		
3 年次	現代 文B		古典 B		〈選択〉 地 理 研究		〈選択〉 数 学 Ⅲ			化 学			〈選択〉 物 理 生物			体 育		コミュニケーション 英語Ⅲ			英 語 表現Ⅱ		〈選択〉 数 学 特論Ⅱ								

○ 国公立大学の医療系学部等を目指す場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2 年次	現代文B			古典B		地理B			数学Ⅱ			数 学 B		化 学		物 理 基礎		〈選択〉 物 理 生物		体 育		保 健		コミュニケーション 英語Ⅱ			英 語 表現Ⅱ		社会と 情報		
3 年次	現代 文B		古典 B		〈選択〉 現代 社会 研究		〈選択〉 理型数学 研究Ⅲ			化 学			〈選択〉 物 理 生物			体 育		コミュニケーション 英語Ⅲ			英 語 表現Ⅱ		〈選択〉 国語 表現								

※ は、共通科目。〈選択〉については、科目選択例を表している。

(5) 平成28、29年度の富岡高等学校及び富岡東高等学校入学者の教育課程

平成28年度入学者については、両校が統合に向けて定めた教育課程にのっとるものとする。

平成29年度入学者については、前述(3)の教育課程表(案)を踏まえ、両校が定めるものとする。

【参考2】学校の沿革

	富岡高等学校	富岡東高等学校
明治30年4月	群馬県尋常中学校甘楽分校として開校	
明治34年4月	群馬県立富岡中学校と改称	
明治42年4月		北甘楽郡女子実業講習所として開校
明治44年3月		北甘楽郡立高等女学校と改称
大正12年4月		群馬県立富岡高等女学校と改称
昭和23年4月	学制改革により 群馬県立富岡高等学校と改称	学制改革により 群馬県立富岡女子高等学校と改称
昭和23年10月	定時制課程開設	定時制課程開設（男女募集）
昭和24年4月		男女募集開始
昭和24年11月		群馬県立富岡東高等学校と改称
昭和25年4月	男女募集開始	
昭和27年4月		男子募集停止
昭和44年3月	女子募集停止	
昭和59年3月		定時制課程廃止
平成9年10月	創立100周年記念式典挙行	
平成21年11月		創立100周年記念式典挙行
平成28年3月	卒業生数22,536名	卒業生数23,047名
平成30年4月	新高等学校開校 (富岡高校創立121年、富岡東高校創立109年)	